



1983年ごろの大岡信さん▲



『私の万葉集』講談社 1993～95年▲

【大岡信さんの主な歩み】

- 1931年 田方郡三島町(現三島市)に歌人大岡博の長男として生まれ、沼津中学(現沼津東高)時代に詩作を始める
- 1953年 東京大学文学部国文科卒業、在学中は学内誌や同人誌に詩や評論を発表。読売新聞社入社
- 1955年 第一評論集『現代詩試論』、翌年第一詩集『記憶と現在』刊行
- 1963年 読売新聞社退職、以降多くの芸術家と交流をもつ。詩作のほか美術評論や古典評論を活発に展開
- 1980年 『折々のうた』で菊池寛賞受賞
- 1999年 第1回「しずおか連詩の会」、08年まで参加
- 2009年 「大岡信ことば館」開館

追悼 大岡信

三島市
名誉市民

4月5日、三島市出身の詩人で名誉市民の大岡信さんが86歳で亡くなりました。今回は追悼特集として、主な歩み、代表的な仕事、三島に関連する作品などを紹介します。



COVER PHOTO

—— 表紙 ——

安久のワイルドフラワー畑です。矢車草、ひなげし、アフリカキンセンカ、ツマシロヒナギクなど色とりどりの花が、美しく咲き乱れます。

4月29日(土・祝)には、「安久お花畑音楽会」が開かれました。

CONTENTS

—— 目次 ——

- 2 追悼 大岡信
- 4 安心と笑顔が繋がるまち
- 8 三島市職員を募集
- 9 富士山南東消防組合職員募集
- 10 叙勲・褒章おめでとうございます
- 11 風水害・土砂災害に備えよう
- 12 みしま情報便 (information)
子育て関係の手続きをお忘れなく ほか
- 14 お知らせアラカルト
- 21 図書館からのお知らせ
- 22 いきいき健康
- 23 ほけんカレンダー
- 24 スポーツ情報 / 第1回健康コラム
- 25 地下水対策検討委員会
- 26 みしま情報便 (information)
三島ブランドお中元セット ほか
- 28 フォトマイタウン
- 30 静岡県知事選挙のお知らせ
- 34 市民活動団体応援コーナー / シビックプライドの旗手
- 35 連載 歴史の小箱 / わたしのおじいちゃんおばあちゃん
- 36 宮西先生のギャラリーオープン

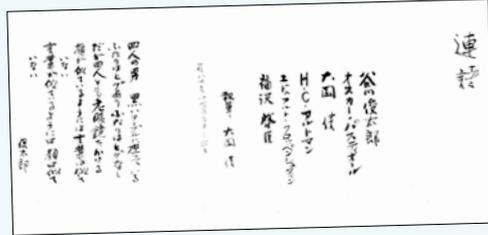
「連詩」の提唱や『折々のうた』

大岡さんは、日本の伝統的な連句に倣い、共同で詩を制作する「連詩」を70年代初めに提唱。80年代には、欧米で海外の詩人たちとも精力的に連詩制作を行ってきました。

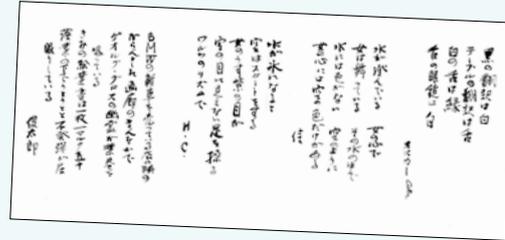
評論家としても活躍し、朝日新聞1面に79年から29年間連載した「折々のうた」は、古代の歌謡から現代詩まで、訳詩も含め古今東西、日本語で書かれた「うた」を題材に、毎日一つをとりあげ解説を行う人気コラムでした。



▲『折々のうた』原稿



▲連詩『ファザーネン通りの縄ばしご』



三島についての詩

大岡さんは、故郷である三島やせせらぎについての詩も書いています。三島町奈良橋は、現在の三島市中田町です。故郷愛の強さが垣間見えます。

三島町奈良橋回想

掘抜き井戸が狭い小さい庭にあつた。
茗荷がちよぼちよぼ生えてゐた。
塀きはに白萩の　これはりつばな群生もあつた。
ほんとにちつこい借家だつた、恥づかしいほど。
だが何てつたつて　あの透き徹る
冷たい清水。天の甘露よ　地の玉露。
なまぬるい水道水は引いてなかつた、そのかはり
縄で吊るした西瓜が、真赤に冷えて滴つた。
観世流の謡をうなつてゐた父ちゃんも、
暗いうちからお釜をしゃかししゃか炊いでくれた
母ちゃんも、この水が　誇りだつた。
夢の中でも　伸びた藻草がゆらゆら揺れて、
坊やはやがて　この奥の　水の都へ帰つて来るのさ、
ゆらゆらと頬笑んで　手招きしてゐた。

詩集『世紀の変わり目にしゃがみこんで』思潮社 二〇〇一年

輝かしい功績



▲2008年ごろの大岡さん

大岡さんの詩は、英語、フランス語、中国語などに翻訳され、海外でも親しまれています。89年フランス芸術文化勲章シュヴァリエ、04年レジオン・ド・ヌール勲章オフィシエ受章、96年にはマケドニア詩祭で金冠賞受賞と、詩人として高く評価されています。

日本では97年に文化功労者、03年に文化勲章を受章し、明治大学と東京藝術大学の教授、日本ペンクラブ会長、日本現代詩人会会長なども務めました。

追悼展示

▼大岡信ことは館：9月16日(土)～11月26日(日)に「大岡信追悼特別展」を開催予定
▼図書館：「追悼大岡信」開催中

※詳細は広報みしま5月1日号

大岡信ことは館 ☎976・9160

郷土資料館 ☎971・8228

図書館 ☎983・0880